

# 知事の参院選特定政党応援についての 抗議と申し入れ 7/6

只今、7月10日投開票日の参議院選挙が激しい争いとなっています。その選挙において、特定の政党・候補を応援することをほばからないどころか、率先して応援に駆け付け、「鈴木知事全面支援」とWeb映像にまで登場されたことに驚きを禁じ得ません。6月30日には、公務の時間帯に知事自ら提案して実施していた「記者会見」を中止してまでも特定候補の応援を優先しました。そのことへの批判があることを承知しながら、7月5日にも公務中に応援演説をされています。知事個人が、どの候補者を支持しようと、個人として自由ですが、広くそれを公言し実質的な応援活動に回るといことは、三重県知事として許されるものではありません。



昨年の知事選挙では「県民党」を掲げ、自民党・公明党ばかりでなく当時の民主系の「新政みえ」の推薦で再選されたのですからなおさらです。県民に対しての裏切り行為でもあります。ましてや、憲法論議が二分され争点となっている今回の参議院選挙で、三重県の為政者として憲法順守義務がある知事が、現政権がすすめる憲法違反の「集団的自衛権」「安保関連法」を擁護し推進する立場に立つことこそ憲法違反です。すべての県民の代表としてその思いを斟酌し、全体としての福祉の向上を目指すべきこそ「県民党」ではなかったのでしょうか。

また、応援演説の中で、「日本共産党県議団が議会で、リニアやサミットに反対して三重県の前進と逆行する」ととれる発言があったようですが、県民の中の多様な意見が議会で論じられるのが民主主義であり、反対や批判を許さないという姿勢は民主主義を理解されておられません。

知事という立場にありながら、特定候補・政党の応援をされることについて、強く抗議し、品格をもってことにあたられますよう申し入れます。

以上

【メディアインタビューに答えて】共産党県議団は、サミットについて「諸手をあげて賛成できない」という立場でした。道路整備やテロ対策などに借金してまで巨費を投じる予算の問題、地元の方への営業補償や不安解消の問題、伊勢神宮訪問(参拝)を政治利用することの問題、メディアセンター用土地の無償貸し付けの問題など、やり方の問題を指摘し予算に反対はしましたが、「サミットが悪い」といったことはありません。県民の中にも疑問視する声があった事は事実です。リニア新幹線については、環境破壊の面、採算性と効率性の問題、何より巨額の費用がかかることに疑問を持ち、長良川河口堰や、RDF発電所、ガス化溶解炉の二の舞にならないように(それ以上の巨費投入です)と反対しています。これもまた県民の声です。知事は受け取りの際の面談を「時間がない」と拒否。通路で渡すだけということになりました。



地域医療構想

こんなことが!

ベッド数 2150 削減へ踏み出す!

## 「未稼働病床の取り扱い説明会で削減案」 強引ではないのか?

5月19日、県下の対象となる87病院を集めて、「未稼働病床の取り扱いに係る説明会」が開かれたことがわかりました。具体的には未稼働病床の整理方法は、新公立病院改革ガイドライン(2015年3月)に準拠し、直近3年間連続して病床利用率が70%を下回っている場合を対象にし、病院ごとにあらかじめ計算した削減対象ベッド数を封筒に入れて配りました。この削減案を基にヒアリングを行い未稼働病床整理計画を決定すると言っています。

医師不足や看護師不足で仕方なく空きベッドがある中で、先んじて削減案を押し付けることは問題です。ますます病院からの追い出しが進むことが心配されます。国の進める医療改悪は許せません。



6月はピンクづくし



6月4日  
視察調査



ペッパー君と←メディアセンター→2億円の松!!

# 2015年度 政務活動費の報告をします

すべての会派・議員の収支についてはHPでご覧になれます。

議員分(交付上限 月18万円)	
調査研究費	94,080
研修費	15,630
広聴広報費	339,760
要請陳情等活動費	4,550
会議費	6,440
資料購入費	231,682
事務所費(5月~)	216,275
事務費	74,262
人件費(10月~)	82,608
合計	1,065,287

※調査研究費・研修費の主なものは、本委員会・所属委員会以外に聞き取りや相談対応するための登庁旅費や、研修会参加・調査・行事出席のための旅費

※広聴広報費は「山本りか県議会通信」No1~11を発行(内容で按分)

※資料購入費は、書籍・新聞

※事務所費・人件費は経費の2分の1を按分

会派分(交付上限 月30万円)	
調査研究費	
研修費	
広聴広報費	2,197,957
要請陳情等活動費	
会議費	
資料購入費	46,563
事務所費	
事務費	159,145
人件費	
合計	2,403,665

※広聴広報費は、県議団ニュース春号・新春号の発行配布内容で按分

※事務費の主なものは控え室用プリンタ、FAXの減価償却を加味しての按分

【余談】先日新聞各紙報道の議員の資産公開に「山本りかの詳細がない」と、問い合わせをいただきました。

1期生議員については年途中からなので掲載範囲外また預金の対象は定期預金のみの公開だからでした。

※ 無駄遣いのないように心がけ、山本りか議員個人分で914,713円、会派分で896,335円を返納しました。

※ 三重県議会では、領収書(1円より)の添付がされています。議会図書館でご覧になれます。